

マルキ通信

平成4年 2月

第 9 号

関西Kサークル スキークラブ

平成4年度は関西Kサークル大躍進の年にしたい

会長 川島徹也

部屋が空くのを待つ間、以前よりずっと近くなった松葉の湯へ行き、一番湯につかりながら、「今年も来ることができて良かったなあ。」としみじみと感じました。地球の温暖化が進んでいるためか、とくに今年は中止すべきか決行すべきかで悩んだ年でした。しかし、これまで、30年間中止になったことのないKサークルの実績を信じて、祈るような気持ちで雪の無い野沢に宅急便を送ったのです。しかし、皆さんの願いが天に通じたのか、直前になって雪が降り、中止したクラブやツアーの多い中で、本Kサークルは見事に実施することができました。そして、例年に無い大所帯ながら、事故もなく楽しいツアーになり、すべてが大成功だったと自負しております。これも参加者皆さんのご協力があればこそと感謝いたしております。来シーズンはさらに明るく、楽しいツアーにしたいと考えておりますので、次回も是非ご参加くださるようお待ちしております。

ところで、今シーズンは上位陣十余名が対外行事に参加し、自己の能力の限界に挑戦しますが、これは言い換えれば「Kサークルの技術レベルを診断されること」にもなりましょう。以前は伝統のみのクラブと思われがちでしたが、近年ようやく努力の成果が現れ、若手の技術の向上が見られ、特に今年はKサークル始まって以来のすばらしい成果が上げられると確信しております。このように私達は関西Kサークル部員として誇りを持ち、技術の向上に努めることはもちろんですが、同時に人格向上に努めることも、特に次代を担う若い人は忘れてはならないと思います。

第2回 奈良県スキー技術選手権大会 総合優勝・準優勝

平成4年1月16日に、野沢温泉スキー場で行われた第2回奈良県技術選手権にKサークルより永広・川島（秀）の両選手が出場しましたが、3位以下を大きくひきはなして、〔永広〕総合優勝（1153点）、〔川島〕総合第2位（1151点）というKサークル初の快挙を成し遂げました。



- 1 パラレルターンA(ジャンピングによる)中斜面 第2位 永広(229)・川島(229)
- 2 ウェーデルンA(ジャンピングによる)中斜面 優勝 永広(230)
- 3 ウェーデルンB(バンディングによる)急斜面 優勝 永広(235) 第2位 川島(234)
- 4 ステップターンB(ステップによる)中斜面 優勝 川島(228)
- 5 総合滑降(曲) 総合斜面 優勝 川島(236) 第2位 永広(235)

両選手は2月3日・4日に行われる西日本スキー技術選手権に出場いたします。皆さんのご声援をお願いいたします。

早いもので、Kサークルに参加して今年で六年目になります。高校生、大学生、そして社会人一年目の今、振り返ってみると、生徒から教師に変わっている自分を見て、教師になろうと思ったのは、Kサークルに参加して多くの先生から色々お世話になって影響を受けたからじゃないかなあと、最近よく思います。とくに今回、子供達と一緒にいて、自分が今までKサークルにいてよかったなあ、教師になってよかったなあ、子供達が喜んでくれてよかったなあとあらためてKサークルの良さが分かったような気がします。

人それぞれスキーへの考え方や目標は違うでしょうが、Kサークルを通じて、今後参加される人たちに何かプラスになるよう、今度は自分が協力していきたいと思います。

~~~~~ ☞ ~~~~~ ☞ ~~~~~ ☞ ~~~~~  
☞ 俳句の先生 ☞

3班 山下 智子

私にとって二回目の参加となる第31回関西Kサークルスキーツアーで、私はとても素敵な人たちと出会いました。

その一人は体育の先生ではなく、俳句の先生、野田先生です。先生に「一句お願いします。」と言うといつも「山に来て……山に来て……え～山に来て……」とくりかえし詠んでくださいました。

また、とても機敏な動きでみんなの前でロシアダンスを披露された時はあまりのお茶目さに（失礼）、あまりの身軽さに感動し、厚かましくもチークダンスの申し出をし、いっしょに踊っていただきました。

野田先生は授業中も15分に一回の笑いを取り入れられているそうで、野沢でもそのテンポで私達を大変楽しませてくださいました。

今でも新大阪の駅で片手に野沢菜キムチを持たれた姿が眼底にこびりついて離れません。最後に野田先生、及び諸先生方、本当にありがとうございました。

~~~~~ ☞ ~~~~~ ☞ ~~~~~ ☞ ~~~~~  
☞ スポーツの魅力はこれだ！ ☞

1班 谷口 彰

私がKサークルのスキーツアーに参加させていただいて6年がたち、その6年目にしてようやく、1級が自分のものになり、嬉しさと責任を同時に背負うことになりました。それには、熱心に指導して下さったKサークルの指導員の先生方のお陰と本当に感謝しております。私にとって、スキーというスポーツが魅力的になったことが最も大きな収穫であったと思います。言い換えれば、滑っていて気持ちの良い時間が長くなり、その感触も良くなっていく、つまり最も原始的なことに猿も人も魅せられていくのである。これがスポーツの魅力だと考えます。

以上のような魅力を追い求められている方やこれから追い求めようとする方には、良い学習方法が必要であります。そのようにお感じになられた方は次もKサークルの扉を叩いてみてはいかがでしょうか……………。

1月2日から6日までお父さんとスキーツアーで長野県までバスで行きました。長野県に着くまで10時間もかかりました。着いたのは朝の7時でした。とても疲れたので2時間宿で休憩しました。10時から山に登りました。おとうさんに他の生徒さんと一緒に指導を受けました。お父さんから「先生と呼びなさい。」と言われたのに、教えてもらうときについつい忘れて「お父さん滑っていいですか。」と言ってしまいました。後でお父さんから怒られてしまいました。次の日から野木先生に指導を受けました。最後の日に検定を受けました。5級のテストはブルークとブルークボーゲンの二種目でしたが、合格できてとても嬉しかったです。これからもKサークルに参加してもっとスキーが上手になりたいです。

~~~~~ 器 ~~~~~ 器 ~~~~~ 器 ~~~~~  
 図わがスキー人生 特別班 玉中 公浩

あれは11年前、17才の冬のことだった。初めての白銀の世界、玉中氏は感動した。スキーはええなあ！それから3年後、大学の友人とスキーツアーに参加した玉中氏はある男に出会った。その名は永広氏であった。ボーゲンも満足にできなかった玉中氏の目には、永広氏の滑りは日本一のように見えた。そのとき玉中氏のスキー人生に異変が起こった。「この人についていこう。」と心に決めた玉中氏は、次のシーズンから永広氏のスキーにひつつきムシのようについて回った。

次の年、関西Kサークルのツアーにも参加し、2級そして1級と取得し、スキーの実力がどんどんついていった。「なんてスキーは楽しいんだろう。」玉中氏は心の底からスキーを楽しんでいた。

しかし、玉中氏に事件が起きたのであった。左足小指の横に軟骨が出てきたのであった。まさに指が6本になるようなくらい腫れて、靴が履けなくなってしまった。それが原因で玉中氏のスキーは向上しなくなり、もともと怖がりだった玉中氏はスランプになり、スキーが嫌になった。「もうこれ以上うまくならないのか。」と思いつつも玉中氏はやっぱりスキーが好きだし、このスランプ状態の自分自身が嫌であった。「この壁を乗り越えて頑張らねば……」と思い、そこにはスキー向上に努力する玉中氏の姿があった。(つづく)

~~~~~ 器 ~~~~~ 器 ~~~~~ 器 ~~~~~  
 図スキーってこんなにハードだったの? 6班 本田 順子

初めてスキーをすることになり、講習を受けて、「スキーってこんなにハードなんだ」とつくづく思いました。運動音痴で運動不足、そのうえ病み上がりだった私は、先生や同じ6班の高校生の方たちなどに着いていこうとするだけで必死。体力がついて行かず、団体行動を乱してしまいました。皆さんすみません。

スキーに関しては、何もかもが新しく、珍しく、戸惑うことばかりだったんですが、それでも色々教わるうちに、最初はまったくできなかったブルークができるようになり、次の日にはブルークボーゲンができるようになり、と段階を踏むにつれてうまくなると嬉しいものでした。リフトからこけずに降りられたのも嬉しかったです。

最後に、橋爪先生には何度も助けていただき、ありがとうございました。また練習して、せめてあんなに転倒しないようになりたいですね……。

私達は1月2日から7日まで、Kサークルスキーツアーに参加させていただきました。行くときのバスのなかでは、ほとんど着いてからのことしか考えていませんでした。とっても待遠しかったです。着きました。外の景色は雪国です。とっても嬉しかったです。朝ご飯を食べて出発です。スキーを背負ってスキー場まで行くのがしんどいし、つらかったです。だけど一生懸命登っていきました。スキー場に着きました。とっても嬉しかったです。一滑りしてから講習を受けました。はじめはどんな友達がいるか、半分そわそわして、半分緊張していました。5日に検定があって、すごく緊張して朝とお昼のご飯もあまり食べませんでした。兄弟二人で検定を受けて、兄弟二人で受かったので自信ができました。帰る日になりました。スキーのことしか頭にありません。とっても嬉しくて、楽しいお正月が迎えられて嬉しかったです。先生ありがとうございました。大変いい思い出になりました。

新春スキーバッチテスト合格者 おめでとうございます

- 1級 谷口 彰(ゼッケン7)・松浦 聖治(ゼッケン12)
 2級 秋葉 泰子(ゼッケン18)・熱田 清美(ゼッケン19)・大迫 健司(ゼッケン28)
 宮崎 真(ゼッケン62)・喜田 啓介(ゼッケン66)
 3級 木村 智子(ゼッケン21)・向井 圭子(ゼッケン24)・三宅 健司(ゼッケン25)
 中根 香(ゼッケン32)・伊川 敦(ゼッケン34)・中川 佳子(ゼッケン37)
 4級 鈴木 中士(ゼッケン38)・田中 美樹(ゼッケン49)・小林 千枝(ゼッケン50)
 大沢 敦子(ゼッケン13)
 5級 光本 望(ゼッケン46)・光本 啓悟(ゼッケン48)・沢本 恵典(ゼッケン51)
 本田 順子(ゼッケン52)・稗田 佑介(ゼッケン53)・山本 康弘(ゼッケン54)
 山本 真司(ゼッケン55)・橋爪 恒男(ゼッケン57)・藤岡 幸恵(ゼッケン58)
 坂本 菜々(ゼッケン59)

Kサークルからのお知らせ

今シーズンKサークルでは以下のような行事を実施し、メンバー相互の親睦をはかると共に、レベルアップをめざしております。皆さん奮ってご参加ください。

- 1 正指導員・準指導員・C級スポーツ指導員受検のための勉強会
(1月14日川島先生宅にて理論講習会が実施されました。)
- 2 正指導員・準指導員・C級スポーツ指導員受検者特別講習会
(1月30日ナイターの六甲人工スキー場にて特別講習会が行なわれました。)
- 3 そら山でのカニとスキーを楽しむツアー
(2月8日～9日に20名の予定でカニとスキーを楽しみます。)
- 4 さよならスキー
(3月20日～23日に「八方尾根でさよならスキー」が実施されます。)